

はじめに

『がん登録でみる愛媛県のがん診療 2022 施設別集計(院内がん登録 2020 年診断症例より)』を上梓します。

愛媛県の7がん診療連携拠点病院と8がん診療推進病院が参加する愛媛県がん診療連携協議会・がん登録専門部会は、県内のがん登録の体制の整備を目指し、実務者の研修・情報交換の場としての役割を担ってきました。『院内がん登録情報・解析研修会(解析研修会)』は、院内がん登録の利用促進を目的とし、実務者自身が自施設などのデータを分析し評価を行うための研修会です。この本は、解析研修会が平成25年以来毎年発行している成果物の10冊目にあたります。愛媛県の各施設の院内がん登録データを共通のフォーマットで集計・解析し『施設別版』として刊行しました。県全体版はタイムリーな更新や利用者の利便性の向上のために、愛媛県がん診療連携協議会のHPにおいて、web版で公開することにしています。

院内がん登録は、がん登録推進法に基づき、各病院が自院のがん情報を標準登録様式に従って登録するデータベースで、各病院にとっては自施設のがん診療の内容を、がん対策を担当する行政機関にとっては行政区域内の医療資源を把握する重要な資料になります。なにより住民・患者にとっては、近くの病院がどんながん診療を行っているかを知るための最も身近ながん情報です。

2020年はコロナ禍によりがん診療にとっても特別な年になりました。今回集計された愛媛県2020年診断の院内がん登録件数は13,262件で、前年より494件減少しました。院内がん登録の集計から全県的にはがん診療の制限、検診や受診の自粛などによる影響があったことが分かっています。一方、各々の病院への影響は、その病院の役割によってことなっていましたので、この冊子でご確認ください。解析結果に対して、参加施設の代表者のコメントと各施設の実務者による短い解説を記載しておりますので、ご参考にしてください。

愛媛県内の悪性腫瘍の8割以上が院内がん登録に登録されています。この冊子を各施設の診療や愛媛県のがん対策のための基礎資料として少しでも活用して頂ければ幸いです。ただし、がん登録のルールなどを熟知しておかないと解釈の難しい部分があります。詳しく知りたい方は各施設のがん登録実務者にご相談ください。

最後になりましたが、本研修会および本資料作成にあたりご協力ご指導頂きました各施設の皆様に御礼申し上げます。

令和4年4月
愛媛県がん診療連携協議会 がん登録専門部会長
寺本 典弘